

輸液ライン用コネクタ「ORCHID™コネクタ」販売開始のお知らせ

患者さんの身体拘束最小化に取り組む医療現場を支援、
「抜けないように固定」から「安全に外す」新アプローチ

ニプロ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役社長:山崎 剛司、以下「ニプロ」)は、Linear Health Sciences, LLC(本社:米国オクラホマ州、以下「Linear 社」)が製造する輸液ライン用コネクタ「ORCHID コネクタ(以下、「本製品」)」について、2026 年 7 月 22 日より日本国内において販売を開始することをお知らせいたします。なお、ニプロは 2026 年 3 月に、Linear 社と本製品の日本国内における独占販売権を取得する契約を締結しています。

輸液などの投与に留置カテーテルを使用する際、患者さんの体動や無意識の動作により、カテーテルが意図せず抜けてしまう「偶発的抜去」が発生することがあります。これは、特に高齢患者や認知症患者の増加に伴い、医療現場が直面する課題です。治療の中断や、再穿刺による患者さんの身体的負担が生じ、さらに、医療従事者の業務負荷や、血液・薬液曝露リスクなど安全面での問題も指摘されています。

これまで、偶発的抜去の対策としては、カテーテルの固定方法の工夫やルートの配置の見直し、必要時の身体的拘束などが行われてきました。しかし、完全に防ぐことは難しく、特に認知機能が低下した患者さんやせん妄リスクのある患者さんへの身体的拘束は、患者さんの尊厳と安全の確保、さらには医療従事者の業務負荷軽減との両立において大きな課題となっています。また、厚生労働省のガイドラインでも患者さんの身体拘束を廃止・防止する方針が定められており、2026 年度の診療報酬改定では「身体的拘束最小化推進体制加算」が新設されるなど、国としても身体拘束最小化に向けた取り組みが進められています。

本製品は、従来の「抜けないように固定する」という考え方に加え、引っ張られた際に「安全に外す」という新たなアプローチを採用することで、患者さんの安全確保と身体拘束最小化の両立を目指す医療現場を支援します。本製品は留置カテーテルと輸液ラインの間に接続して使用し、輸液ラインに一定以上の力が加わるとコネクタ部分が分離し、両側の流路を閉塞する構造により、カテーテルの偶発的抜去や患者さんの皮膚損傷、血液・薬液漏れなどのリスク低減に寄与します。

ニプロは、輸液関連製品や血管アクセス関連製品をはじめ、医療現場で日常的に使用される製品を幅広く提供してきました。本製品の販売を通じて、輸液ライン管理における安全対策の選択肢を広げ、今後とも医療現場の課題解決に貢献する商品の開発、提供に努めてまいります。

ORCHID™コネクタ



商品名: ORCHID コネクタ
一般的名称: 輸液用アクセサリーセット
製造販売: ニプロ株式会社
医療機器クラス分類: クラス (一般医療機器)
医療機器届出番号: 27B1X00045000179
参考価格(税抜): 2,000 円

- 留置カテーテルと輸液ラインの間に接続して使用
- 一定の力が加わるとコネクタが分離し、両側の流路を閉塞する構造により血液や輸液の漏出リスクを低減



お問い合わせ先

報道機関の皆さま: コーポレートコミュニケーション部 PR 室 TEL 06 - 6310 - 6650

その他の皆さま : 医療機器情報室

TEL 0120 - 226 - 410

受付時間 9 時 ~ 17 時 15 分 (土・日・祝日・当社休業日を除く)

このニュースリリースは、報道関係者や株主・投資家等の皆さまを含む多くのステークホルダーに対し、当社の企業活動に関する情報やその取り組み概要について、公平かつ適切なタイミングで提供することを目的としています。

文中に含まれる当社取扱製品やサービスに関する情報は顧客誘引や医学的アドバイスを意図するものではありません。